

南房総市総合計画審議会 第1回会議 会議録

1. 日 時 令和3年11月11日(木) 午後2時00分から午後4時20分まで

2. 場 所 南房総市役所 本庁舎 別館1 大会議室

3. 出席者

(1) 委 員

No.	氏 名	備 考
1	青木 文仁郎	南房総市行政連絡協議会 会長
2	芳賀 裕	南房総市行政連絡協議会 前会長
3	羽山 綾子	南房総市社会福祉協議会 地域福祉班長兼内房支所長
4	押元 麻衣	南房総市朝夷商工会 経営指導員
5	川名 三雄	一般社団法人南房総市観光協会 副会長
6	鎌田 元弘	学校法人千葉工業大学 教授
7	出川 貴章	館山信用金庫 支援部長
8	関 和則	医療法人光洋会 事務長
9	鈴木 貴	株式会社インターコム R&D センター 管理部長
10	藤井 美津子	あわぼおんネット 共同代表
11	白井 健	NPO 法人千葉自然学校 南房総市大房岬自然の家 副所長
12	岡本 秀和	株式会社岡本農園 代表取締役
13	石井 美智代	南房総市教育委員会 教育委員

14	飯田 彰一	南房総市議会 議員
15	阿部 美津江	南房総市議会 議員

(順不同、敬称略)

(2) 市

No.	所属・職氏名	備 考
1	市 長 石井 裕	
2	副市長 嶋田 守	
3	教育長 三幣 貞夫	
4	総務部 部 長 朝倉 和利	
5	保健福祉部 部 長 内藤 一浩	
6	市民生活部 部 長 奥澤 基一	
7	農林水産部 部 長 渡邊 昭彦	
8	商工観光部 部 長 福原 正和	
9	建設環境部 部 長 川名 勝徳	
10	富山国保病院 事務長 山野井 和弘	
11	水道局 局 長 眞田 裕之	
12	会計管理者 斉藤 和幸	
13	議会事務局 局 長 石井 喜弘	
14	教育委員会子ども教育課 課 長 長谷川 鶴人	※代理出席 (教育委員会 次長 水島 孝夫 欠席のため)
15	総務部企画財政課 課 長 高梨 真一	事務局

16	総務部企画財政課 課長補佐 渡邊 孝浩	〃
17	総務部企画財政課企画政策係 係 長 伊藤 健一	〃
18	総務部企画財政課企画政策係 副主査 佐藤 泰幸	〃
19	総務部企画財政課企画政策係 主 事 堀江 亮	〃
20	(株)ユエリサーチ&コンサルティング 主任研究員 横山 徹	コンサルタント

4. 次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員及び職員紹介
- 5 会長、副会長の選出について
- 6 第2次南房総市総合計画後期基本計画の策定に関する諮問について
- 7 議 事
 - (1) 第2次南房総市総合計画後期基本計画策定方針について … 資料1
 - (2) 後期基本計画策定に向けた調査等について
 - ア 市民等意識調査 … 資料2
 - ・市民アンケート ・中学生アンケート ・職員アンケート
 - イ 市民等ワークショップ … 資料3
 - ・市民ワークショップ ・総合計画策定職員ワーキングチーム
 - ウ まちづくり座談会 … 資料4
 - (3) 総合計画前期基本計画並びに第2期総合戦略の進捗状況について … 資料5・資料6
 - (4) その他
- 8 その他 南房総市の人口及び主要統計指標について … 資料7
- 9 閉会

5. 配布資料

- ・ 次第
- ・ 席次表
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 第2次南房総市総合計画後期基本計画策定方針
- ・ 資料2 市民等意識調査実施要領
- ・ 資料3 市民ワークショップ実施概要
- ・ 資料4 まちづくり座談会実施要領
- ・ 資料5 令和3年度 総合計画記載事業進捗管理票（令和2年度事業分）
- ・ 資料6 令和3年度 総合戦略記載事業進捗管理票（令和2年度事業分）
- ・ 資料7 南房総市の人口及び主要統計指標
- ・ 資料8 南房総市総合計画審議会規則

6. 会議概要

1 開会

司 会 それでは、定刻より少し前ではございますが、皆さまお揃いのようにございますので始めさせていただきます。皆さまにおかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は本日の会議の進行を務めさせていただきます総務部企画財政課の渡邊と申します。よろしくお願いたします。

会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきたいと思います。

<資料の確認>

欠席委員のご報告を申し上げます。武田委員におかれましては、本日ご都合により欠席となっております。また、会議に先立ちまして会議録作成のために本日の会議を録音させていただきます。ご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、ただいまから南房総市総合計画審議会第1回会議を開会します。

2 委嘱状交付

司 会 次に、次第の2「委嘱状交付」に移らせていただきます。

ただいまから委員の皆さまお一人お一人に直接市長から委嘱状をお渡しいたしますので、自席にてお受け取りくださいますようお願いいたします。

<市長から出席委員へ委嘱状を交付>

3 市長あいさつ

司 会 続きますして、次第の3「市長あいさつ」、石井市長よりご挨拶申し上げます。

《石井市長》

南房総市総合計画審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。このたびはお忙しいところ、総合計画審議会委員を快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。ただいま皆さまには、審議会委員の委嘱をお願いしたところでありますが、市では、平成30年度に市民一人ひとりがこの地に誇りと愛着を持ち、地域の魅力を最大限に活かしたまちづくりを進めるため、10年間の第2次南房総市総合計画を策定し、さまざまな施策を総合的かつ計画的に推進しているところでございます。

計画の前半にあたる前期基本計画では、企業や新しく事業を立ち上げようとする方々への支援や、農業・漁業の生産基盤・流通体制・販売拠点の促進、これからを担う子どもたちの学習環境・生活環境の充実、健康施策の充実、自然環境の維持・整備などを図ってまいりました。一方で、前期基本計画の終盤を迎えている中、今日の社会情勢と地方を取り巻く環境を見ますと、加速する少子高齢化と人口減少社会における様々な課題に加え、令和元年房総半島台風などの激甚化する自然災害への対応、新型コロナウイルス感染症への対応のほか、持続可能な社会の実現に向けたSDGsの視点による取り組みなど、新たな時代の潮流への対応も求められています。

このような時代の中で、私たちは、まちづくりの目標である「ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総」を実現するため、前期計画の総括を踏まえ、令和5年度からの新たな基本計画である「後期基本計画」を策定していく必要がございます。市の向かうべき将来像や、まちづくりの方向性・基本方針をさらに推し進め、全ての市民が満足して暮らしていくことができるよう、急激な人口減少を和らげ、地域経済の活性化を図るとともに、持続可能なまちづくりを確立するために、市民・行政の果たすべき役割をお互いに担いながら、共に手を携え、共に考え、共に行動するまちづくりを推進してまいりたいと考えます。

計画の策定にあたりまして、後ほど、委員の皆さまに、計画の策定に関する諮問をさせていただき、専門的な知見や市民生活に身近な立場など、様々な観点から、忌憚のないご意見、ご提言をお聞かせいただきたいと存じます。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

4 委員及び職員紹介

司 会 続きますして、次第の4「委員及び職員紹介」に移らせていただきます。

本日お配りいたしました、次第の裏面になりますが、「南房総市総合計画審議会委員名簿」
をご覧いただきたいと存じます。恐れ入りますが、この名簿に沿いまして、行政連絡協議
会長の青木委員から順次、簡単に自己紹介をお願いいたします。

《青木委員》

富山町出身の青木文仁郎と申します。行政連絡協議会の会長をしています。よろしくお願ひします。

《芳賀委員》

芳賀裕と申します。同じく行政連絡協議会の昨年度の会長をしていました。現在、大井地区の区長
をしています。よろしくお願ひします。

《羽山委員》

南房総市社会福祉協議会、地域福祉班長兼内房支所長の羽山綾子でございます。よろしくお願ひ
します。

《押元委員》

南房総市朝夷商工会の経営指導員をさせていただきます、押元麻衣と申します。よろしくお願ひ
いたします。

《川名委員》

皆さん、こんにちは。南房総市観光協会の副会長の川名三雄と申します。

事業としてはスポーツ合宿や教育旅行などの団体を受け入れております。よろしくお願ひします。

《鎌田委員》

皆さん、こんにちは。千葉工業大学の鎌田と申します。

学生や先生方と、南房総市では各地でまちづくりに関わらせていただいております。よろしくお願ひ
いたします。

《出川委員》

皆さま、こんにちは。館山信用金庫支援部の部長をしております、出川と申します。

支援部というところは、お取引先のお客様の本業支援、顧客支援、持続化に向けた業務ですとか、地域の活性化などに取り組んでおります。どうぞよろしくお願い致します。

《関委員》

三芳地区にあります医療法人光洋会に勤務しております関和則と申します。

法人内では三芳病院をはじめ介護施設の光栄館などを運営しております。

グループ法人としては社会福祉法人三芳野会という場所を運営しております。そこでは福祉、障害福祉を対応しております。よろしく願いいたします。

《鈴木委員》

(株) インターコムR&Dセンター管理部の鈴木と申します。

弊社はグループ会社が開発したソフトウェアのユーザーサポートですとか、カスタマイズ対策などをしています。私は主に管理部門で労務管理などを担当しております。よろしく願いいたします。

《藤井委員》

皆さま、こんにちは。藤井美津子と申します。子育てに関する情報発信の活動をしております。移住者で子育て世代ということで、何かの意見がお役に立てばと思います。よろしく願い致します。

《白井委員》

皆さま、こんにちは。大房岬自然の家の副所長をしております白井と申します。

NPO法人千葉自然学校という団体が指定管理者として自然の家を運営しております。主に小学生の林間学校の受入れ、あるいは自然環境を使った教育プログラムの開発、観光商品の開発などをしております。よろしく願い致します。

《岡本委員》

皆さま、こんにちは。三芳地区で水稻を中心に営農をしております(株)岡本農園の岡本と申します。私はこの三芳の地で生まれ育ち、学生時代にここを離れて過ごして、25歳の時にこちらに帰ってきました。それから22年ほど親元就農という形で家業を継ぎまして、11年ほど前に法人化して、若い

社員を雇用しながら営農をしております。

今年は米価が大暴落しましていよいよ我々も大きな転換点に立っていて、これから速いスピードで変化をし続けなければいけないという状態にあるという非常に危機的な状況だなと感じております。

私は農業しかしたことがありませんので、みなさまのような、幅広い学識も経験もございませんが、私の経験したことを市政に活かせるよう僅かながらではありますが ご協力させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

《石井委員》

皆さま、こんにちは。南房総市教育委員会教育委員をさせていただいております石井美智代と申します。よろしくお願い致します。

《飯田委員》

皆さま、こんにちは。議会議員の飯田と申します。よろしくお願い致します。

《阿部委員》

皆さま、こんにちは。議会議員の阿部と申します。私は和田で生まれ育ちまして白浜に嫁いでおります。この南房総市内を皆様が本当に暮らしやすいまちとなるよう、基本計画の策定に協力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

<以下、副市長から順に職員の自己紹介・コンサルタントの自己紹介>

司 会 以上で、委員及び職員紹介を終わらせていただきます。

5 会長・副会長の選出について

司 会 続きまして、次第の5「会長・副会長の選出について」に移らせていただきます。

資料8「南房総市総合計画審議会規則」をご覧ください。

南房総市総合計画審議会規則第4条第1項の規定に、「審議会に会長及び副会長1人を置き、それぞれ委員の互選により選任する。」こととされております。会長、副会長の選任方法を含めまして、ご意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

《押元委員》

我々は今日皆さん初めてお会いする方も多いと思いますので誰が適任かわからない状況です。全員のことを知っている事務局案がありましたらお願いします。

司 会 ただいま、押元委員から事務局の案はありますかというご意見がありました。事務局からご提案させていただいてもよろしいでしょうか。

各委員：(異議なし)

事務局： それでは、ご提案いたします。

会長には、第2期総合戦略の策定に携わっていただき、また総合計画前期基本計画からの取り組みの継続性を鑑みましても、昨年度まで会長をお引き受けいただいております千葉工業大学教授の鎌田元弘委員に引き続きお願いできればと、ご提案いたします。

また、副会長には、同様に前期基本計画から取り組みの継続性を鑑みましても、昨年まで副会長をお引き受けいただいております市議会議員の飯田彰一委員に引き続きお願いできればと、ご提案いたします。

司 会 ただいまの案につきましてお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。

各委員：(異議なし)

司 会 それでは異議なしということで、会長に鎌田委員、副会長を飯田委員にお願いすることで、ご承認いただきました。

鎌田委員、飯田委員は会長席・副会長席にご移動をお願いします。

それではご選任されました鎌田会長・飯田副会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。はじめに、鎌田会長よりお願いいたします。

《鎌田会長》

ただいま会長に推薦いただきました、千葉工業大学の鎌田でございます。僭越ながら、会長の職を務めさせていただきます。

今回皆さんと議論するものは総合計画であり、全ての関連計画の最上位計画になります。令和5年から令和9年の5年間を見据えた計画になります。

南房総市は大変厳しい状態が続いています。特に人口フレーム、総合戦略の第1期、第2期と続いています。全国各地を見ても、人口の自然増が期待できない部分がございます。社会増は、他自治体と移住者の奪い合い、関係人口も一朝一夕のもので。

その中で、次期基本計画はまさに正念場の期間であり、これまでの取り組みを形にしていくものがあります。全国各地と同じような施策から一歩踏み出す、その辺りがポイントになることかと思えます。皆さんの英知を合わせて素晴らしい計画になるべく、ご検討いただければと思います。

《飯田副会長》

ただいま副会長に選任されました、市議会議員の飯田でございます。2年前の房総半島台風、新型コロナウイルスの流行など地方経済の状況は、なかなか厳しい状態でございます。みなさんから忌憚のないご意見をいただいて鎌田会長のもと、総合計画を作っていきたいと思っておりますので、皆さまのご協力のほどよろしく願いいたします。

司 会 ありがとうございます。ここで会長と今後の進行について調整を行うため、この時計で午後2時30分まで休憩とさせていただきます。お時間までに席にお戻りください。

<休憩>

6 第2次南房総市総合計画の策定に関する諮問について

司 会 再開させていただきます。

続きまして、次第の6「第2次南房総市総合計画の策定に関する諮問について」に移らせていただきます。

それでは、石井市長より審議会に対しての策定に関する諮問を行います。なお、委員の皆さまには、諮問書の写しを配布しましたのでご覧ください。

《石井市長》

諮問 第2次南房総市総合計画後期基本計画の策定に当たり、南房総市総合計画審議会規則第2条の規定により、貴審議会の意見を求めます。なお、諮問理由は、冒頭のあいさつで述べた通りとなりますので省略いたします。

<写真撮影>

《鎌田会長》

ただいま石井市長より、南房総市総合計画後期基本計画の策定に関する諮問をいただきました。

これから皆さまで審議する後期基本計画は、令和5年度から5か年の市のまちづくりの方向性や目標などを明らかにするものです。委員の皆さまは、さまざまな分野でご活躍の方々ですので、多角的な視点からご意見をいただき、ご協力いただきながら答申を作り上げたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

司 会 これから議事に入りますが、議事の進行につきましては、南房総市総合計画審議会規則第5条第1項の規定により、会長が議長を行うことになっております。鎌田会長、よろしくお願いいたします。

《鎌田会長》

それでは、議長を務めさせていただきます。本日の出席委員は15人です。半数以上の出席がありますので、総合計画審議会規則第5条第2項の規定により、会議はここに成立いたしました。

ご質疑等がございます方は、挙手をもって議長が指名した後お名前を言っていただいてから、マイクを使って発言をしていただきたいと思います。と存じます。

また、南房総市総合計画審議会規則第7条の規定により、先程紹介しました職員にも説明員として出席していただいております。

7 議事 (1) 第2次南房総市総合計画の策定方針について

《鎌田会長》

それでは、早速議事に入ります。議事の「(1) 第2次南房総市総合計画の策定方針について」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

<資料1により、事務局から説明>

《鎌田会長》

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご不明な点等がございましたら、ご質問を

お受けしたいと存じます。いかがでございますでしょうか。

ご提出いただいた「南房総市総合計画審議会委員の皆様へ」のお尋ねの中にも、後期基本計画策定にあたり、望むことがございましたら、というお願いをしております。簡潔にご意見をいただければと思います。例えば、SDG s の取り組みの中で、ご指摘いただいている川名委員いかがでしょうか。

《川名委員》

観光協会の小中学校のプログラムを作っておりますが、学校からSDG s の取り組みを行いたいという要望が出ています。市内でできるSDG s の取り組みを作っていけたらありがたいと思います。旅行業に関して、新型コロナウイルスが流行してから様々な部分で制約が出ています。交流人口が減少しているので、交流人口を増やすための施策を作っていければと思います。アフターコロナを見据えた施策が必要だと思えます。

《鎌田会長》

ありがとうございます。ご要望ということでよろしく願いいたします。

SDG s について、阿部委員いかがでしょうか。

《阿部委員》

2050年までに脱炭素社会を実現するというところで、世界各国が取り組みを始めています。南房総市においてもゼロカーボンシティ宣言を掲げています。SDG s の観点や脱炭素が計画を検討する上で大事な視点になってくると思います。市民意識の醸成が大切になるので、後期基本計画の中に位置づけて、どのような取り組みが必要か、数値目標も明確化して掲載してほしいと思います。

《鎌田会長》

ありがとうございます。ご要望ということでよろしく願いいたします。

他にご意見、ご質問等ございますか。

《鎌田会長》

質問がないようですので、以上で質疑を終了いたします。

以上で、議事の「(1) 第2次南房総市総合計画の策定方針について」を終了いたします。

議事（２）後期基本計画策定に向けた調査等について ア 市民等意識調査

《鎌田会長》

続きまして、議事の「（２）後期基本計画策定に向けた調査等について ア 市民等意識調査」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

＜資料２により、事務局から説明＞

《鎌田会長》

事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。

何かございますでしょうか。

《石井委員》

市民アンケートが無作為抽出で1,500名となっており、南房総市の市民の5%ぐらいかと思います。目標である回収率50%は、水準として高いのでしょうか、低いのでしょうか。

事務局： 市民アンケートについて、どれくらいの精度があれば信頼度が担保されるかということですが、今回の調査では500名程度に回答していただければ信頼できると言えます。今回はウェブアンケートも実施しているので50%程度、750名程度の回答を見込んでおります。また、お礼状兼督促状も郵送して回収率向上を図っています。

《鎌田会長》

過去の市民アンケートで一番高い時の回収率を教えてください。

事務局： 前回は3,000名に依頼して、43%の回収がございました。

《鎌田会長》

ありがとうございます。委員の皆様も様々なお立場な方がいらっしゃるので、市民アンケート、中学生アンケートに携わるよう各方面でお願いしたいと思います。

石井委員から中学生アンケートへのご意見はございますでしょうか。私自身、他市で愛郷心を育むプロジェクトに関わっていますが、中学生に愛郷心を持ってもらうということは大変なことです。

調査を通して、愛郷心に繋がるような上手な仕掛け方があればよいと思います。

《石井委員》

南房総市の小中学校では、地域を学ぶための南房総学という科目がありますので、子どもたちは地域へ愛着を持っています。今回の調査は、中学2年生を対象に実施するアンケートなので、学校の方で100%の回収率を目指して取り組んでいただけたと思います。かなりよい回収率が見込めると思います。

《鎌田会長》

子どもたちに南房総学で愛着を持っていただくということですが、大人になった時も市内に戻ってきてもらえるようなシナリオなどご提案はございますか。

《石井委員》

子どもたちは将来のことを考えていると思います。子どもたちは既に南房総市の環境がよいことは知っているので、市の方で仕事や雇用の取り組みを進めていただければよいと思います。

《鎌田会長》

その他ご質問・ご意見等、何かございますでしょうか。

各委員：(意見なし)

議事(2) 後期基本計画策定に向けた調査等について イ 市民等ワークショップ

《鎌田会長》

続きまして、議事の「(2) 後期基本計画策定に向けた調査等について イ 市民等ワークショップ」について、事務局より説明をお願いいたします。

<資料3により、事務局から説明>

《鎌田会長》

事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。何かございますで

しょうか。

《白井委員》

ワークショップのテーマの中に教育を入れていただけないでしょうか。今の子どもたちを南房総市のこれからの人材としてどのように育てていくか。家庭・社会でどのように教育していくのか、子育てと関連するかもしれませんが、ぜひ議論していただければと思います。

《鎌田会長》

事務局から何かございますでしょうか。

事務局： 教育については、子育てのテーマの中で議論していきたいと考えております。

《鎌田会長》

ありがとうございます。南房総市や館山市、勝浦市などでは郷土の仕事を教えようと活動していらっしゃる方がいますが、教育分野だけではなく、人・まち・仕事と繋がっているような切り口も大切だと思います。子どもの教育だけではなく、大人の仕事など郷土愛を保ちながらできることが重要なので、何かアイデアがあればご議論いただければと思います。いかがでしょうか。

《白井委員》

学校教育の中での役割と、学校外での教育の役割があると思います。お答えになるかわかりませんが、先日富山学園の修学旅行が無くなったということで、学校の先生にご相談いただきました。地域のアウトドアを実施されている方とお繋ぎをして3日間のプログラムを作成し、実施しました。

その中で、関わってくれたスタッフの方が、子どもたちのためなら何でもやりますとお答えいただきました。子どもたちにも熱意が伝わったのか、とても楽しかったと感想をいただきました。そのような経験から、人と人が対峙する中で、愛着が生まれ郷土愛に繋がっていくのだと思いました。

先程のアンケートの中でも、郷土愛にフォーカスした問いがあっても良かったと思いますが、一つの教育という切り口だけではなく、そこにどのような人がいて、どのような活動があって、接点を作っていくかということが、重要なことだと思います。

《鎌田会長》

急なお尋ねにも関わらず、ご回答いただきありがとうございます。

事務局にお願いです。ワークショップをテーマごとに話し合うということですが、一つのテーマから入っても横断的な議論をしてほしいと思います。子ども目線や職員目線など、テーマを通じて様々な視点で議論してほしいと思います。

先程の市民・中学生アンケート実施にあたって、結果をまとめる際に、グラフを書いて終わりではなく、横串を刺すような形で議論をしていただければと思います。

《藤井委員》

ワークショップではテーマを分けてグループ分けをするということですが、グループ分けというのはどのようにされるのでしょうか。

事務局： グループ分けについては現段階での案になりますが、様々な分野に精通されている方にご参加いただくので、その分野に沿った形でグループ分けを実施する予定です。

《藤井委員》

属性に分けてグループ分けを実施されるということですが、先ほどの鎌田先生のご発言にもありましたとおり、横断的なご意見が必要になります。例えば、グループを希望制にして、柔軟にグループを分けた方が面白い意見が聞けると思います。シティプロモーション・ワークショップでは、第1回、第2回目でグループのメンバーが変わりました。

私も属性では子育てに配属されると思いますが、議論してみたいのは、しごとや移住・定住のテーマだったりします。グループ分けは、参加者の希望制にしてみたいはかがでしょうか。

《鎌田会長》

貴重なご意見ありがとうございます。属性でグループ分けをしてしまうと関わりあるテーマについては議論しやすいですが、なかなか横断的な議論がしにくいところもあるかと思います。

ワークショップに参加される審議会委員の方々にはぜひ横串を指す気持ちで、そのような雰囲気や審議会にも持ち帰っていただきたいと思います。

議事（２）後期基本計画策定に向けた調査等について ウ まちづくり座談会

《鎌田会長》

続きまして、議事の「（２）後期基本計画策定に向けた調査等について ウ まちづくり座談会」について、事務局より説明をお願いいたします。

＜資料４により、事務局から説明＞

《鎌田会長》

事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。

本日、地域という括りの中で青木委員、芳賀委員にご出席いただいておりますがいかがでしょうか。

《青木委員》

農業に携わっておりますが、皆さん、耕作放棄地など無関心な人が多いと思います。地主の責任、地域の美化運動にも参加しないので住民の意識の変革が必要に思います。大多数の人は無関心なので、人様のために汗を流すという考え方が重要だと思います。

《鎌田会長》

先程、南房総学の話がございましたが、どうして大人になると無関心になるのでしょうか。このケースは上手くいっているなど、事例があればお伺いできればと思います。

《青木委員》

普段のコミュニケーションが大切になるかと思います。私自身は、一つの付き合い方をとっても、ある程度親睦を深めてからお願いするようにしています。

今は、人と接する機会が極端に少ないように感じます。隣近所の関係が希薄になっていることが問題だと思います。

《鎌田会長》

まちづくり座談会を実施するにあたり、地域の本音のところの話を聞ければと思いますが、何かご意見ございますか。

《青木委員》

忌憚のない意見を出すために、皆さんが思っていることを本音で語っていただくことが大切だと思います。

《鎌田会長》

芳賀委員はいかがでしょうか。

《芳賀委員》

最初に全体に共通することですが、南房総市の地域の特徴というのは、中山間地域、沿岸地域、住宅密集地と大きく3つくらいに分かれると思います。それぞれ課題が異なりますので、それを踏まえた上での施策を具体的に示すべきだと考えています。例えば、災害一つとっても我々は地域が孤立するかもしれない場所にいます。

いま青木委員が述べたように、普段から顔の見える関係をどのように作っていくのか、全体に共通する課題になります。ワーキンググループの中で話し合っていく必要があります。課題は具体的に定まっているにも関わらず、緊張が緩和されているのではないかという危機感もあります。

《鎌田会長》

ありがとうございます。

議事（3）総合計画前期基本計画並びに第2期総合戦略の進捗状況について

《鎌田会長》

続きまして、議事の「（3）総合計画前期基本計画並びに第2期総合戦略の進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

<資料5・6により、事務局から説明>

《鎌田会長》

事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。何かございますでしょうか。

最近の計画では常にこのような進捗管理を問われていて、PDCAサイクルで管理をしています。

指標の達成だけで見えてしまうので、まちづくり全体の向上の視点に繋がらない場合もありますので、ぜひ委員の皆さまの肌間隔でご意見をお伺いできればと存じます。

各委員：(質問等なし)

議事(4) その他

《鎌田会長》

質問がないようですので議事の「(4) その他」の議論に移りたいと思います。

「(4) その他」については、ぜひ横串を指して議論をしていければと思います。限られた時間になりますが、ご発言いただければと思います。

本日まだご発言をいただけてない委員を優先的にご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。

《岡本委員》

私は農業という仕事をしています。父親が農家で、子どもの時から手伝いをしながら、一労働者として育ってきました。同級生の多くは農業を継がずにサラリーマンになっていきました。私が農業を継いだ想いの一つに、大学時代に東京に出て行ったときに、地元のことをふと思い出してみた瞬間がありました。その時に、三芳村にお世話になったと気持ちが芽生えて、大学を出たときに三芳村に何ができるかなと考えるようになりました。

中学生アンケートを実施されるということで、高校生や大学生になってこの場所を離れた若い子たちが、南房総市を振り返ってみて、将来自分の居場所がどこにあるのか、想像させることがすごく大事だと思います。

常に南房総市と関わっているという関係性を維持することも大事だと思います。私は普段、田んぼ道を歩いて登下校している子どもたちに農家の仕事を少しでも見せたいという気持ちで、仕事をしています。農家の仕事はお年寄りがやるという先入観がありますので、あえて若い社員にやってもらうようにしています。今年から始めたことは、若い女性社員にもオペレーターとして機械を操縦してもらうことで、登下校時の子ども達に女性が仕事をしている姿をみてもらい、若い女の人も農業をやっているのかということを知ってもらう取り組みをしています。

職業構造が大きく変化しているので、今の小学生たちは三芳という純農村に住んでいても、農業というものが何なのかわからないまま育っていってしまう危機感があります。仕事づくりについては、少しでも若い人たちが農業という仕事を理解してもらうのが最初なのではと思っています。

《鈴木委員》

前期総合計画の重点プロジェクトの中で、公共施設を活用した企業誘致という部分で、2016年から創業し6期目になります。現在は、南小学校跡地の貸事務所をお借りしています。

当初は、房日新聞やハローワーク、行政の会社説明会等で募集することで雇用人数が確保できましたが、新型コロナウイルスの流行により、2年ほどイベントが開催できない状況があり、採用戦略として求人情報のサイトにコンテンツを依頼しています。そのような状況でも雇用は増えていかないという状態です。

現在、都心部の企業がユーザーサポートを行う事業を地方に移し始めています。地方都市だと給与水準が高くても、それ以上に人がおり、ベンチャー企業も成功事例が多いです。南房総市と館山市の定住自立圏構想がありますが、地域の点だけではなく、それが結びついて圏域で色々なことを考えていけたらと思います。

《関委員》

後期基本計画の策定にあたり、移住・定住、Uターンの内容で記載しました。少子高齢化が進行していますが、数年前まで行政とハローワークが一緒になって都内で移住等のイベントを開催していたと思います。イベントにより、どれくらい移住者がいたのか、実施結果等をこのような場所に出してもよいのかと思います。

市民ワークショップや各地区の座談会の実施によって、地域の方々の声が上がってくると思います。各地に住む移住者には、南房総市を居住地として選んだ理由等の聞き取り調査など、そのような調査結果もこの場に出てきてよいと思います。

また、この地域では医療施設だけではなく、介護・福祉施設が増えている印象です。起業する方が多いと思いますが、運営するためにはほとんどの施設で、看護師資格を持った方が必要になります。この地域で看護師の有資格者の総数はそこまで変わっていないにも関わらず、需要は増えています。有資格者の補填も一つ考えていただきたいと思います。

最後に、進捗管理表を拝見して、目標を達成できなかった理由として、新型コロナウイルスの影響との記載が多くありました。コロナ禍の対策をした上での結果なのか、収束しなければ同様の結果になる懸念もありますので、そのような話もさせていただければと思います。

《出川委員》

一点目は、前期基本計画の状況について、移住促進の項目がありますが、移住・二地域居住はある意味では新型コロナウイルスの流行が後押ししているとも言えます。一方で、そのような理由で移住した方は、テレワークが可能な職種の方々だと思います。今後も移住・定住を促進するためには、テレワーク可能な職種の方に限らず、地元で魅力的な働く場を提供することが重要になると思います。ワーケーション等で市場環境が変化していくに伴い、ホテル・旅館等の受入れ体制整備や、別荘の管理事業者といったような新たな事業の創出が必要です。受け入れ側も対応しながら促進していければと思います。

二点目の後期基本計画に望むこととしては、東京を始めとした移住者への補助金制度の充実、制度があるということを市外に伝える広報の強化も必要だと思います。先程、鈴木委員からのご発言にもありましたが、南房総と言われると地域外からは三市一町の範囲を示すことが多いので、定住自立圏構想など、市町村の垣根を越えて経済圏で一つの地域を考えることも必要だと思います。

《川名委員》

観光業としては、災害と新型コロナウイルスの影響により、ここ数年は減少していますので、ここは戻していかなければいけません。宿泊業についても、後継者不足の問題もあります。移住者の手も借りながら、宿泊場所の数を減らさないような取り組みも必要になるかと思います。

《押元委員》

計画策定の中で、アンケート、ワークショップ、座談会と様々な企画をされていると思いますが、実施要領の中でこれらは計画立案の参考にすると目的に記載されています。ワークショップの成果を計画の中に取り込むなど、参加者が計画策定に関わったと実感できるようにしていけたらよいと思います。アンケートについても、回答して下さる方は時間を割いているので、最終的な成果は市民も閲覧できるよう開示してほしいと思います。商工会としても起業・創業支援の参考として活用できると思います。南房総市だからできることを市全体に還元してほしいです。

また、総合計画と総合戦略の戦略について、資料を拝見しましたが、目的と手段という手段の説明しか記載されていません。最終的にこの結果が南房総市全体としてどのような状態だったのか、全体の目的への回答が見えてきませんでした。

重点プロジェクトとして、20歳～39歳の4,800人維持するという目標が掲げられていますが、一つ一つの手段が目的に対してどうだったのか、検証結果が見えたら次の計画の参考にもなると思い

ます。

最後に、商工会としては、個人事業、小規模事業者が主な支援先になります。大きな企業を誘致するなどはできないので、市として大きな企業誘致ができるような体制を整えてもらえると、小規模事業者の飲食・サービス業が盛り上がっていくのではないかと考えています。

《羽山委員》

進捗管理表の高齢者福祉の充実という項目で、新型コロナウイルスの流行のため、参加者が減っているという記載がありますが、南房総市の社会福祉協議会の事業は、比較的高齢者に特化しています。高齢者の居場所づくりでは、元気な高齢者を地域でお互いに支え合っていくという視点で、災害時の見守り安否確認、買い物支援の場所として機能することも目的の一つとして活動しています。新型コロナウイルスの流行とともに、訪問活動への切り替えやお手紙を渡したりといった活動をスタートしました。コロナ禍だからできることを探っていかなければならないと感じています。

社会福祉協議会は、令和2年に地域福祉活動計画を市と協働で策定しましたが、市と連携して地域の皆さんと一緒に考え、活動できるようにと考えています。高齢者を対象にした活動がメインですが、若い世代への福祉教育など、子育てや仕事など人の意識醸成についても取り組んでいかなければと感じました。

《鎌田会長》

ありがとうございました。各委員のご意見をお聞きしました。

もう少しお時間を頂戴して補足事項等がある委員がいらっしゃいましたら、ご発言いただければと思います。藤井委員いかがでしょうか。

《藤井委員》

市民目線の意見としては、コロナ禍での生活は都会と比べると南房総市の方が暮らしやすいと感じています。そのような部分の南房総市ならではの良さが伝わるような形で、人口増や活気あるまちに繋がればよいと思います。

《鎌田会長》

私の手元だけに、委員全員のご意見がございますので、もしご了解いただけるのであれば共有したいと思いますので、よろしくお願いたします。

できれば、本審議会の「4 その他」の部分も、議事録から要点を抜粋していただき、市民ワークショップ参加者に配布していただいてもよいと思います。

「4 その他」でいただいた意見を計画にどう反映するか、事務局と私で相談して検討したいと思います。

《芳賀委員》

コンパクトにまとめますと、右肩上がりの推計を参考に目標を設定するのではなく、スマートシュリンクシティの考え方を南房総市から発信したらよいのではと考えます。あまり無理な目標を設定してPDCAを回しても結果がついてこないのも、縮小社会を見据えて南房総市から提案をしていくのが現実的かと思います。

《鎌田会長》

最後になりますが、質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。何かございますでしょうか。

各委員：(意見等なし)

《鎌田会長》

最後に飯田副会長から挨拶をお願いいたします。

《飯田副会長》

皆さんに大変貴重なご意見を頂戴しまして、会長からご発言がございましたが、ご意見を皆さまで共有できたと思います。長時間にわたりありがとうございました。

《鎌田会長》

以上ですべての議事を終了させていただきます。

長時間にわたり貴重なご意見等をいただきありがとうございました。今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

8. その他

司 会 鎌田会長、円滑な進行をありがとうございました。

それでは次第の「8 その他 南房総市の人口及び主要統計指標について」、事務局より説明申し上げます。

<資料7により、事務局から説明>

司 会 ただいまの説明につきまして委員の皆さま方から、何かご意見等はございますでしょうか。

各委員：(意見等なし)

司 会 それでは、事務局より事務連絡を行います。

次回の会議の開催予定でございますが、令和4年3月4日(金)14:00から、本日より同じこの場所で予定しております。どうぞご出席くださいますようお願いいたします。

なお、会議開催通知を発送する際には、会議資料もあわせて事前配付する予定ですのでよろしく申し上げます。

事務局からは以上でございます。

9. 閉会

司 会 委員の皆さま方には、長時間にわたりまして慎重なご審議をさせていただきましてありがとうございました。以上をもちまして、南房総市総合計画審議会第1回会議を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

以上